

修学旅行入込み状況調査

(1) 調査の概要

(目的)

この調査は、修学旅行の入込み状況を把握し、今後の修学旅行の誘致及び受け入れ対策の参考に資するとともに、観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

(調査対象事業所)

この調査の対象は、県内の旅行代理店及び海運会社など修学旅行受け入れ事業所とする。

(調査の時期及び項目)

調査は、月毎の受け入れ校数及び人数等、各種項目とする。

(調査の方法)

調査対象事業所が取り扱った修学旅行(大学、専修学校等のゼミ・研修旅行、青年の船等を含む。)の実績をまとめるものとする。

(2) 調査の結果

平成14年における修学旅行入込み状況は、入込み人数285,857人、入込み校数1,451校となり、対前年比で入込み人数78,993人増(+38.2%)、入込み校数360校増(+33.0%)となった。

月別では、10月の72,932人(構成比25.5%)324校が最も多く、次いで11月の61,550人(同21.5%)265校、12月の47,369人(同16.6%)210校となっており、この3ヶ月間で全体の6割以上を占めている。逆に少ない月は、8月の322人(同0.1%)6校、7月の4,757人(同1.7%)30校、1月の8,038人(同2.8%)39校となっている。

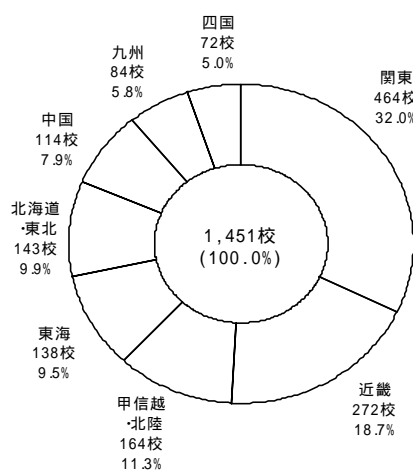
学校種類別では、高校が233,399人(構成比81.6%)1,034校と最も多く、次いで中学校の49,959人(同17.5%)365校の順となっている。

地域別では、関東の108,905人(構成比38.1%)464校が最も多く、次いで近畿の55,779人(同19.5%)272校、甲信越・北陸の33,473人(同11.7%)164校となっている。

都道府県別では、大阪府の29,919人(構成比10.5%)144校が最も多く、次いで東京都の29,560人(同10.3%)141校、神奈川県23,687人(同8.3%)102校、埼玉県22,775人(同8.0%)80校、長野県13,512人(同4.7%)71校となっている。

滞在日数別入込み校数は、3泊4日の887校(構成比61.1%)が最も多く、次いで2泊3日の469校(同32.3%)、4泊5日の76校(同5.2%)となっている。

平成14年修学旅行入込校数の構成



平成14年修学旅行入込人数の構成

